

第1回

岐阜県小児在宅医療研究会

医療的ケアを要する重症心身障がい児が年々増加し、多くが在宅生活を送るようになっていきます。しかし、その支援を行うための医療・福祉などの社会資源は限られており、連携も不十分な状況にあります。岐阜県では、自宅で生活する障がい児(者)に対する医療・福祉サービスの充実を図るため、医療・看護・福祉・教育・行政などの関係者が一堂に会し、課題の解決に向けて知恵を出し合うとともに、顔の見える関係をつくる場づくりを目指し、岐阜県小児在宅医療研究会を開催いたします。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

日時:平成26年2月16日(日)13:00~17:30(開場:12:30~)

会場:岐阜県総合医療センター 情報交流棟 3階講堂

(岐阜市野一色4-6-1)

※公共交通機関での来場にご協力ください(裏面地図参照)

定員
200名様
(先着順)
【参加無料】

プログラム

13:00~13:05 開会あいさつ

久保田 芳則 岐阜県健康福祉部次長

13:05~13:25 基調発言

「岐阜県における小児在宅医療の現状と課題」

矢嶋 茂裕 岐阜県医師会常務理事・矢嶋小児科小児循環器クリニック院長

13:25~14:45 基調講演

「医療と福祉の協働で支える小児在宅医療」

前田 浩利 医療法人財団はるたか会理事長・あおぞら診療所新松戸院長(千葉県松戸市)

15:00~16:55 パネルディスカッション

<座長>

深尾 敏幸 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学教授

今村 淳 岐阜県総合医療センター小児科部長

○報告:15:00~16:00

① 開業小児科医から見た小児在宅医療の課題

福富 悌 福富医院院長

② NICUからの在宅移行支援の課題

下平 悦子 国立病院機構長良医療センター医療社会事業専門員

③ 小児訪問看護の現状と課題

中川 奈緒美 下呂訪問看護ステーション管理者

④ 希望が丘学園における短期入所事業の課題

水畑 真由美 岐阜県立希望が丘学園看護部上席看護師長

○ディスカッション:16:00~16:55

16:55~17:00 岐阜県からのお知らせ・閉会あいさつ

都竹 淳也 岐阜県健康福祉部地域医療推進課総合療育推進室長

17:00~17:30 名刺交換会

